

### 安全上の「ご注意」

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り付けをすることを想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

**注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

- 記号が行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近所に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号が行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
- 記録工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッス網など）と接触しないよう取り付けらるる
- 自然排気型のスロープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配管をすること
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッス網など）と接触しないよう取り付けらるる

### 注意

- 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
- 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
- 作業は2人以上でおこなうこと
- レンジフードは39kgの重さがあります

### 取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的な資格者がおこなう必要があります。
- 大工工事 [設置のための大工工事等]
- 配線工事 [コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等]
- 管工事 [ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等]
- 流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」としての「組立・設置」を区別しておこなってください。

● ダクトの不燃処理について

- ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定済の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。

● 調理機器の幅レンジフードの幅以内のものをご使用しないでください。レンジフードの前より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

● 屋外壁面の排気口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m<sup>3</sup>/h 時 50Pa以下のものをご使用ください。防虫網付きのものは目詰まりして排気効率が低下する場合がありますので使用しないでください。

● 非常に長いダクトや短いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率が低下して低圧状態になり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

● ダクトは必ず屋外側に向けて下向き配管を設けてください（目安：1/100～1/150程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

● レンジフードは調理機器の真上に取り付けしてください。なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集できませんので、お台所の全体換気のため他の換気扇と併用していただければよくなりました。

● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm<sup>3</sup>程度の空気取入口を設けてください。

● 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応にしてください。

● 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。

### 取り付け前の調査と準備

#### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッス網など）と接触しないよう取り付けらるる

#### 注意

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
- 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります

1 取付箇所の強度確認

● 製品質量 39kg

2 天井面への穴あけ（取付詳細図-1）

1) 天井面のレンジフードを取り付ける位置に開口525mm×奥行300mmの開口をあけてください。

2) 開口部周辺を補強板で補強してください。

3 吊りボルトの取り付け（取付詳細図-2）

レンジフードの吊りボルト位置に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

● ※吊りボルトは、M10～12を用いてください。

● ※吊りボルトは製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。

4 排気ダクトの取り出し（取付詳細図-2）

φ150のスパイラルダクトを、取付詳細図-2の位置に取り出してください。

5 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器上面からレンジフードの下端まで80cmです。

● ※ガス防炎対策として、ガスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となります。

6 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相100V）

● コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125Vをご使用ください。

### 各部のなまえ

ダクトカバー（別売品）、後ふた、前ふた、給気穴スイッチフード、煙道枠、ベルマウス、オイルバック、整流板、ダクトカバー（別売品）、後ふた、前ふた、給気穴スイッチフード、煙道枠、ベルマウス、オイルバック、整流板、ダクトカバー（別売品）、後ふた、前ふた、給気穴スイッチフード、煙道枠、ベルマウス、オイルバック、整流板

### 付属品

- トラサネじ (M4×10) 13本 煙道およびフードの取り付けに使用します。
- トラサネじ (M5×12) 4本 フードの取り付けに使用します。
- 煙道 1個 本体内部に取り付けます。
- ベルマウス 1個 (煙道にテープで固定されています。本体内部に取り付けます。)
- フード固定金具 1個 フードと本体の固定に使用します。
- ソフトテープ 2本 給気口・排気口とダクトとのすまきをふさぐのに使用します。

### 製品寸法図

レンジフード設置条件 (単位: mm)

調理機器設置高さ 天井高さ: C

レンジフード高さ	1600	2200-2300
レンジフード高さ	1700	2300-2380
レンジフード高さ	1750	2300-2430
レンジフード高さ	1800	2400-2460
レンジフード高さ	1850	2380-2490
レンジフード高さ	1900	2300-2410
レンジフード高さ	1950	2380-2460
レンジフード高さ	2000	2400-2510
レンジフード高さ	2050	2440-2550
レンジフード高さ	2100	2480-2590
レンジフード高さ	2150	2520-2630

## 取り付けかた

### 1. 付属品の確認

#### 注意

- 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
- 作業は2人以上でおこなうこと

付属品を確認します。

● 保証用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、「3. フード・本体の準備」までには使用しないでください。（図1-1）

● 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

● 取付作業の際はキズ、破損のないように十分注意してください。

### 2. 取付準備

#### 警告

- メタルスズリ、ワイヤラス張り、または金属板張りの木の造り物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けらるる
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

#### 注意

- 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

1 事前には管工事業者（法的な資格者）へ天井面へのダクト穴の開口を依頼してください。（図2-1）

また、天井開口部近くの補強板または野縁等に専用コンセントを設置します。

2 φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットし、周囲を仕上げます。（図2-1）

3 M10～12の吊りボルト（取付作業用）を4本、天井の梁などの補強部分に固定します。固定ピッチは前後275mm、左右500mmです。（図2-1）

● ※吊りボルトの突き出し長さは「製品総高さ」- 440

● ※ダクトの突き出し長さ (B) = 「製品総高さ」- 500

### 3. フード・本体の準備

#### 注意

- 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと

1 フードの準備

1) 保護用のクッション材をはずし、整流板の左右にあるストッパーを押してははずします。（図3-1）

2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと開き、後ろを持ち上げて整流板吊り金具からははずします。（図3-2）

● ※必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因になります。

2 ダクトカバー（別売品）を取り付けます。（図4-2）

ダクトカバーに付属の取付ねじ（φ5.1×25）4本でダクトカバーを天井面に固定します。

### 4. 本体の取り付け

#### 注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 部品が取り付けは確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります

1 レンジフードの固定位置を決めます。（図4-1）

1) 右図を参照して、次式よりマーカー位置 (X) の位置を算出してください。

$X = \text{「天井高さ」} - (\text{床から調理機器上面までの高さ} + 800 + 460)$

例：天井高さが2350mm、床から調理機器上面までの高さが850mmの場合

$X = 2350 - (850 + 800 + 460)$

天井からのマーカー位置 (X) は240mmとなります。

2) 吊りボルトにマジックペンなどで、天井からXの位置にマーカーをつけます。

2 前ふた・後ふたをはずします。（図3-6）

前ふたの上部を手前側に引いてははずし、前ふたを持ち上げて、下端の引掛け部を横滑りさせははずします。同様にして後ふたもはずします。

3 ソフトテープを貼り付けます。（図3-7）

給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

### 5. 電気配線

#### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
- 交流100V以外では使用しないこと
- 記録工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと

#### 注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

1 電源コンセント・ブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

2 必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

3 必ず分電盤のブレーカーを「切」にしてからおこなってください。

4 本体を吊りボルトに固定します。（図4-4）

1) 取り付けたダクトカバーに本体両側のガイドを差し込みながら本体を持ち上げ、4ヶ所の吊り金具を吊りボルトを差し込み、吊り金具を引っ掛けるように吊りボルト下側からM10～12のワッシャーおよびナット（取付作業用）を取り付けます。

● 給気ダクトに給気口を、排気ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

5 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。（図4-5）

6 給気口・排気口設置面の風漏れ確認のお願い（図4-6）

給気口・排気口とダクトを接続する際、無理にダクトに接続しようとするか、設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風する場合は、給気口・排気口と設置面の間をアルミテープ等（現場調達品）で風漏れ防止措置をおこなってください。

7 フードを取り付けます。（図4-8）

1) フード後側の引掛け部を本体後側に引っ掛けて、フードを左に寄せます。（図4-8）

2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで取り付けます。（図4-8）

3) 付属品のトラサネじ (M4×10) 3本、(M5×12) 4本でフード下側からの各位置を固定します。（図4-8）

4) 本体背面に付属品のフード固定金具を引っ掛け、トラサネじ (M4×10) 2本で固定します。（図4-9）

8 コネクターを接続します。（図4-10）

フードから出ている電気配線のコネクター2個 (2Pおよび4P) を本体の右側から出ている電気配線のコネクター (2Pおよび4P) に接続します。

● 電源は専用のコンセント（2極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。

● 「6. 試運転」までブレーカーを「入」にしないでください。

### 6. 試運転

#### 注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

1 電源コンセント・ブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。

2 ストップは取り付けていない状態で試運転してください。

3 運転時、各調理の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。

4 異常や振動がないことを確認してください。

5 屋外の排気口から排気され、異常がないことを確認してください。

● 取り付け完了後は各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分ご確認ください。

### 7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

#### 注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと

1 横ふたを左右両品です。

2 横ふたを先に取り付けてください。

3 給気穴のある前ふたは必ず給気板のある側に取り付けてください。

● ※後ふたと間違えると給気ができません。

4 取り付けは「3. フード・本体の準備」の取りははずしたかを参考にしてください。

● 取り付けの際は、フード天面にキズをつけないように注意して取り付けください。

● 横ふた・前ふた・後ふたの取り付けが完了したら、フード天面に貼ってあるキズ防止テープをはがしてください。（図3-5参照）

● ※取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープはもとの状態に戻り付けてください。

### 8. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

● 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

【製造元】 富士工業株式会社

本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9

TEL 042(768)3754 (営業部)